

2019年11月1日09:30 (日本時間) / 00:30 (協定世界時) まで公開禁止

じぶん銀行 日本製造業PMI®

PMIが過去40ヶ月で最小に、需要の大幅減が響く

主な動向

日本の製造業、需要縮小により切迫

生産高が10ヶ月連続で減少

企業は売上増を図って製品を値下げ

日本の製造業の業況は10月も引き続き悪化したことが最新のPMI調査で示された。業況悪化の勢いは前月を上回り、背景には需要状況の継続的な低迷があった。新規受注が2016年5月以降最大の勢いで減少した。これにより生産高が減少し、あわせて在庫、購買数量も減少した。製品価格も、企業の需要喚起の努力を要因に下落した。

しかし雇用は過去6ヶ月の最大幅で増加した。また購買コストの上昇も比較的抑えられ、企業の今後の見通しはやや改善した。

主要指数のじぶん銀行日本製造業購買担当者指数™(PMI®) (製造業の業況を単一の数値で表す複合指標)は9月の48.9から落ち込んで10月は48.4となった。この値は過去3年半弱の最小値であり、日本の製造業の業況が加速的勢いで悪化したことを示す。

要因は、前月よりも大幅な需要の減少だった。日本の製造業の新規受注は著しい勢いで減少したことが最新調査データで示された。調査対象企業によれば、前月比での売上の減少は、10月の消費税引き上げ前の駆け込み需要が終わったことが部分的要因だった。

しかし基本的需要が国内・海外市場ともに低迷したままであると報告された。新規受注総数(国内+海外)が2016年5月以降の最大幅で減少し、輸出も11ヶ月連続で減少した。

新規受注の落ち込みで、日本の製造業の生産高は10月も減少した。全体の減少の勢いは過去7ヶ月で最大で、3つの市場グループのすべてで減少が見られた。最も大幅に減少したのは生産財製造企業で、これに中間財製造企業、消費財製造企業が続いた。調査対象企業は生産高減少の要因として、台風および米中貿易摩擦の波及効果も指摘した。

(次頁に続く)

じぶん銀行 日本製造業PMI
季節調整済み、>50 = 前月比で改善



出典:じぶん銀行、IHS Markit、経産省

コメント

IHS Markitエコノミスト、Joe Hayesによる最新調査結果へのコメント

「第4四半期のスタートとなる10月、日本の製造業には懸念材料が現れた。PMIデータによれば業況が過去3年半弱で最大の勢いで悪化した。

また業況悪化の主たる要因が重要先行指標の1つである新規受注だったことは、特に注意が必要である。

日本の製造業の新規受注は2016年5月以降最も急激に減少し、しかもそれは生産財製造企業、中間財製造企業、消費財製造企業の3つの市場グループのすべてで等しく見られた。

10月の台風の影響による工場の操業の混乱は一過性のものであろうが、調査対象企業は内外市場における基礎的な低迷を指摘しており、日本の製造業の業況のダウンサイドリスクは明らかである。アジア全体の成長鈍化に加えて国内経済の脆弱性も目立ち始め、短期的に回復を期待するのは難しい状況である。」

新規受注の減少を受けて日本の製造業は10月に購買数量を減らし、その勢いは過去3ヶ月で最大だった。在庫維持の傾向も弱く、購買品在庫と完成品在庫がいずれも減少した。減少率は両在庫ともに前月より大きく、特に完成品在庫は18年の調査史上最大の勢いで減少した。

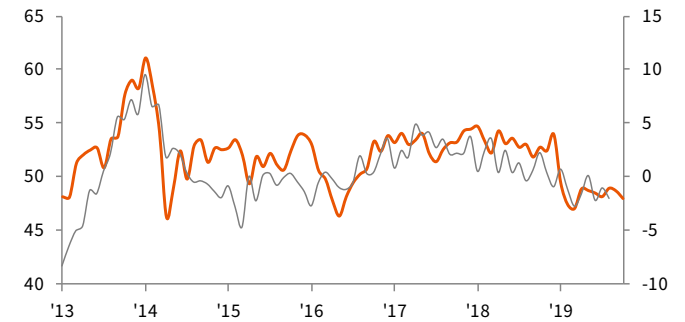
今回の調査期間中、生産能力にかかる圧力は弱まり、受注残が減少した。しかし雇用は過去6ヶ月の最大幅で増加した。また3つの市場グループすべてで雇用増が見られた。

価格面を見ると、購買コストの伸びは過去3年弱で最小だった9月とほぼ同じだった。円高と、一部原材料の値下がりでもコスト圧力が弱まったと、複数の調査対象企業が指摘した。コストインフレの弱まりを活かし、需要喚起を図る企業は製品価格を引き下げた。

PMI生産高指数

季節調整済み、>50 = 前月比で増加

製造業生産高
前年比 (%)



出典：じぶん銀行、IHS Markit、経産省

お問い合わせはこちらどうぞ

じぶん銀行
Grp-S-M-IT@jibunbank.co.jp

Joe Hayes
エコノミスト
IHS Markit
電話：+44 1491 461 006
joseph.hayes@ihsmarkit.com

Bernard Aw
プリンシパル・エコノミスト
IHS Markit
電話：+65 6922 4226
bernard.aw@ihsmarkit.com

Joanna Vickers
コーポレートコミュニケーション
IHS Markit
電話：+44 207 260 2234
joanna.vickers@ihsmarkit.com

調査方法

じぶん銀行日本製造業PMI®は、IHS Markitが製造業約400社の購買担当者に毎月調査を行い、その回答をもとにまとめています。調査対象企業は、GDPへの貢献度に従い産業セクターおよび従業員数別に階層化されています。

調査回答は前月比での変化を示すもので、各月の後半に収集されます。これにもとづき、サブインデックスごとの拡散指数(ディフュージョン・インデックス)を算出します。各指数は「増加/上昇」と回答した企業の比率と、「同じ」と回答した企業の比率の半分の合計です。数値は0~100の間で変動し、50を超えれば前月比で全体として増加したことを、50を割り込めば全体として減少したことを意味します。そのうえで指数に季節調整が加えられます。

主要指数は購買担当者指数™(PMI)です。PMIは次の5つのサブインデックスの加重平均です：新規受注(30%)、生産高(25%)、雇用(20%)、サプライヤー納期(15%)、購買品在庫(10%)。ただしサプライヤー納期指数は、結果として得られる数値が他の指数と比較可能になる計算方法で算出しています。

基本的調査データは発表後に修正されることはありません。ただし季節調整要因は必要に応じて修正されることがあり、その場合は季節調整済みデータに影響が及びます。

2019年10月のデータ収集期間：2019年10月11日~24日。

PMI調査方法の詳細は、economics@ihsmarkit.comへお問い合わせください。

じぶん銀行について

2008年にKDDIと三菱UFJ銀行の共同出資により設立されたネット専業銀行です。「手のひらにある銀行」として、口座・金融商品・決済などに関して、スマホユーザー視点でサービス展開をしています。キャッシュカードなしで入出金が可能な「スマホATM」、為替相場の動きを予測する「AI外貨予測」、GoogleアシスタントやAmazon Alexaへの対応など、ユーザーエクスペリエンスを豊かにするために様々な取り組みを行っています。

IHS Markitについて

IHS Markit (NYSE: INFO) は、世界の経済を促進する主要産業・市場のために必須情報・分析・ソリューションを提供するリーディングカンパニーです。次世代の情報・分析・ソリューションを企業、金融機関、各国政府に提供し、経営効率の改善および正しい情報に基づいた意思決定のための洞察に役立てていただいております。企業・政府機関の顧客数は50,000を超え、ここにはFortune Global 500企業の80/パーセントと世界の大手金融機関も含まれます。

IHS MarkitはIHS Markit Ltd及び/又はその関連会社の登録商標です。その他全ての社名及び製品名はその各々の所有者の商標である可能性がありますのでご注意ください。© 2019 IHS Markit Ltd. 禁無断転載。

IHS Markitのプレスリリースを受け取りたくない場合は、joanna.vickers@ihsmarkit.comへお知らせください。弊社のプライバシーポリシーは、[ここをクリック](#)してください。

PMI (購買担当者指数)

「購買担当者指数™(PMI)®」調査は現在、40を超える国々およびユーロ圏等主要地域で実施されています。世界で最も注目される景況調査として、各国中央銀行、金融市場、企業経営者の方々より、経済動向を知るための正確でユニークな最新月間指標としてご利用いただいております。詳しくは、ihsmarkit.com/products/pmi.htmlをご覧ください。

免責事項

ここに提供するデータの知的所有権はIHS Markitに帰属し、もしくは使用が許諾されています。当データのいかなる部分についても複製、配布、伝達またはその他の行為を含む無許可の使用は、IHS Markitから事前の承諾がない限り認められません。IHS Markitとじぶん銀行は、当レポートの内容またはそこに含まれる情報(「データ」)、データ上のいかなる間違い、不正確な記述、脱落、遅延による、またはそれに関連した責任、義務、負担のいずれをも負うものでなく、またこれにもとづきとらたけたいかなる行為についても責任、義務、負担のいずれをも負いません。当データの使用によって生じるいかなる特殊、偶発的もしくは間接的損害についても、IHS Markitとじぶん銀行は一切責任を負いかねますので予めご了承下さい。Purchasing Managers' Index™およびPMI®はMarkit Economics Limitedの登録商標、もしくはMarkit Economics Limitedに使用が許諾されたものです。IHS MarkitはIHS Markit Ltd及び/又はその関連会社の登録商標です。